

政策シート 政策名 02 安全・安心な医療の提供

予算費目名 01 市立病院政策事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

市民の生命と健康を守るため、高度・先進医療、不採算医療等を提供するとともに、公立病院と民間病院の役割分担と連携強化により、誰もが、いつでも安心して医療サービスの提供を受けることができる体制を整備する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算						
決算						
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	67,300	67,300	68,000	67,200	39,900	
年間経費(予算又は決算+A+B)	67,300	67,300	68,000	67,200	39,900	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

市民の生命と健康を守るため、高度・先進医療、不採算医療等を提供するとともに、公立病院と民間病院の役割分担と連携強化により、誰もが、いつでも安心して医療サービスの提供を受けることができる体制を整備した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
市立病院の効率的な経営により、安定した医療サービスを提供することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市立病院政策事業	-	-		39,900		5.3			1.0
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					39,900		5.3			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市立病院政策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市立病院の安定した経営を持続するために、病院事業に関する企画、運営及び調査を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		67,300	67,300	68,000	67,200	39,900	
人工	正規	9.1	9.1	9.2	9.2	5.3	
	再任用(31h)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0	1.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		67,300	67,300	68,000	67,200	39,900	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・病院事業の企画、運営及び調査
- ・指定管理者との総合調整
- ・浜松医療センター及び浜松市リハビリテーション病院の管理運営
- ・浜松市国民健康保険佐久間病院との連携



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市立病院の効率的な経営により、安定した医療サービスを提供することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・地域における持続可能な医療提供体制を確保するため、機能分化・連携強化、医師・看護師確保等による病院の経営強化に取り組むことに加え、新興感染症への対応や医師の時間外労働規制への対応も必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市立病院の効率的な経営を実施したことにより、安定した医療サービスを提供することができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市立病院の健全経営により、安定した医療提供体制を維持する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・病院事業の企画、運営及び調査
- ・指定管理者との総合調整
- ・浜松医療センター及び浜松市リハビリテーション病院の管理運営
- ・浜松市国民健康保険佐久間病院との連携

政策シート 政策名 02 安全・安心な医療の提供

予算費目名 02 病院会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

公立病院としての使命を果たすための医療提供体制を整備し、安全・安心な病院事業運営を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	2,121,328	2,097,943	2,108,966	2,156,694	2,144,434	
決算	2,105,210	2,084,866	2,100,328	2,148,438		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,106,610	2,086,266	2,101,728	2,149,838	2,145,834	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
浜松医療センターの経常収支比率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	119.4	117.1	127.5	109.7		
浜松市リハビリテーション病院の経常収支比率	%	目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0	101.4	102.0		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

公立病院としての使命を果たすための医療提供体制を整備し、安全・安心な病院事業運営を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
地方交付税の算定基準に基づき、浜松医療センター・浜松市リハビリテーション病院に対する負担金を支出することにより、地域の医療水準を維持するとともに、安全・安心な医療を提供することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	病院事業会計負担金	-	-		2,145,834	2,144,434	0.2				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,145,834	2,144,434	0.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 病院事業会計負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全・安心な地域医療の提供を担う公立病院を安定運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1973	—	一般会計	自治事務(その他)	地方公営企業法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,121,328	2,097,943	2,108,966	2,156,694	2,144,434	
	決算	2,105,210	2,084,866	2,100,328	2,148,438		
	国・県支出		21,458				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	2,105,210	2,063,408	2,100,328	2,148,438	2,144,434	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,106,610	2,086,266	2,101,728	2,149,838	2,145,834	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松医療センターの経常収支比率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	119.4	117.1	127.5	109.7		
浜松市リハビリテーション病院の経常収支比率(%)		目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0	101.4	102.0		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	02	001053000	01	病院管理課	徳増 淳	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・浜松医療センター及び浜松市リハビリテーション病院に対し、下記①②の経費を一般会計から負担した。
 ①その性質上地方公営企業に負担させることが適当でない経費。(救急医療を確保するための経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第1号
 ②その地方公営企業の性質上当該企業に負担させることが困難な経費。(高度・特殊医療等に要する経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第2号



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・浜松医療センターは、2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が減少したが、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としてコロナ患者受入れ・治療などに対する国県の補助制度を活用し、経常収支比率100%以上を維持することができた。
 ・浜松市リハビリテーション病院は、コロナ禍においても高い病床利用率を維持し、経常収支比率100%以上を維持することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・地域における持続可能な医療提供体制を確保するため、機能分化・連携強化、医師・看護師確保等による病院の経営強化に取り組むことに加え、新興感染症への対応や医師の時間外労働規制への対応も必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・負担金により、救急・高度・特殊医療など地域医療水準を維持し、安全・安心な医療を提供することができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・地域の医療水準を確保するため、企業会計収入(診療報酬)で賄いきれない部分について、引き続き市の責務として、市一般会計から支援していく。しかしながら、市民の理解のもと、安全・安心な地域医療を提供し続けるためには、負担基準の明確化はもとより、各病院事業の経営健全化をさらに進め、より安定した経営基盤を築いていくことが必要である。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・浜松医療センター及び浜松市リハビリテーション病院に対し、下記①②の経費を一般会計から負担する。
 ①その性質上地方公営企業に負担させることが適当でない経費。(救急医療を確保するための経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第1号
 ②その地方公営企業の性質上当該企業に負担させることが困難な経費。(高度・特殊医療等に要する経費等)・・・地方公営企業法第17条の2第1項第2号

政策シート 政策名 02 安全・安心な医療の提供
予算費目名 03 浜松市病院事業会計(医療センター)

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

安全・安心な地域医療を提供するという公立病院としての使命を、将来にわたり安定・継続的に果たしていく。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,438,913	6,137,392	9,432,882	13,595,286	20,902,496	
決算	4,320,682	6,066,974	8,739,848	13,270,422		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	5,600	5,600	5,600	5,600	32,900	
年間経費(予算又は決算+A+B)	4,326,282	6,072,574	8,745,448	13,276,022	20,935,396	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
経常収支比率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	119.4	117.1	127.5	109.7		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

安全・安心な地域医療を提供するという公立病院としての使命を、将来にわたり安定・継続的に果たした。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
経常収支比率は目標値100%以上を維持した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市病院事業(医療センター事業費用)	-	○		3,135,514	3,130,614	0.7				
2	浜松市病院事業(医療センター資本的支出)	-	○		17,799,882	17,771,882	4.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					20,935,396	20,902,496	4.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市病院事業(医療センター事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公立病院としての使命を将来にわたり安定・継続的に果たしながら、安全・安心な地域医療を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1973	—	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,376,252	3,827,319	4,609,413	3,461,265	3,130,614	
	決算	2,287,308	3,787,040	4,075,055	3,229,385		
	国・県支出	71,850	1,338,144	1,941,076	1,007,898	71,750	
	市債						
	その他	517,238	794,953	509,388	547,229	1,375,158	
	一般財源 一般会計繰入金	1,698,220	1,653,943	1,624,591	1,674,258	1,683,706	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	
人工	正規	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,292,208	3,791,940	4,079,955	3,234,285	3,135,514	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
経常収支比率100%以上を維持(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	119.4	117.1	127.5	109.7		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・地域の中核病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、救急医療、小児・周産期医療など政策的医療を確実に提供するとともに、高度専門医療を推進し、高度急性期病院として安全・安心な地域医療を提供した。

・また、新型コロナウイルス感染症への対応については、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として患者の受入れ、治療にあたった。

・病院事業会計内の事業として、国県補助金に関する業務、政策的医療交付金に関する業務、施設管理に関する業務などの病院の管理運営に関する事業や病院事業の評価を行う評価委員会に関する事業などを実施した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が減少したが、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての患者受入れ・治療などに対する国県の補助制度を活用し、経常収支比率100%以上を維持することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・地域における持続可能な医療提供体制を確保するため、機能分化・連携強化、医師・看護師確保等による病院の経営強化に取り組むことに加え、新興感染症への対応や医師の時間外労働規制への対応も必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が減少したが、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての患者受入れ・治療などに対する国県の補助制度を活用し、経常収支比率100%以上を維持することができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、経常収支比率100%以上を維持し、安定的経営を継続することで、新病院整備の取り組みを円滑に進める。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・地域の中核病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、救急医療・災害医療、小児・周産期医療など政策的医療を確実に提供するとともに、高度専門医療を推進し、高度急性期病院として安全・安心な地域医療を提供する。

・病院事業会計内の事業として、国県補助金に関する業務、政策的医療交付金に関する業務、施設管理に関する業務などの病院の管理運営に関する事業や病院事業の評価を行う評価委員会に関する事業などを実施する。

事業シート (事業名) 02 浜松市病院事業(医療センター資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

公立病院としての使命を将来にわたり安定・継続的に果たしながら、安全・安心な地域医療を提供するために必要な病院環境を整備維持する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1973	—	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,062,661	2,310,073	4,823,469	10,134,021	17,771,882	
	決算	2,033,374	2,279,934	4,664,793	10,041,037		
	国・県支出	133,439	96,427	43,784	48,385	13,136	
	市債	293,800	615,100	3,123,000	8,423,500	15,844,700	
	その他	1,606,135	1,542,976	1,428,177	1,499,317	1,844,207	
	一般財源 一般会計繰入金		25,431	69,832	69,835	69,839	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	28,000	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	4.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		2,034,074	2,280,634	4,665,493	10,041,737	17,799,882	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
新病院整備率(%)		目標	2.5	3.7	11.5	35.6	82.2	92.9
		実績	2.5	4.5	14.7	39.0		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	03	001053000	02	病院管理課	徳増 淳	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・医療機器購入及び院内整備工事事業
浜松医療センターが公立病院として安全・安心な地域医療を提供するうえで必要な医療機器の購入や、施設整備を行った。
- ・浜松医療センター新病院建設事業
2024年1月の新病院開院に向け、新病院棟の整備工事を進めた。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・整備に必要な医療機器の購入(70件)及び施設整備(21件)を行った。
- ・新病院整備事業においては、2024年1月の新病院開院に向け、医療機器の契約、新病院棟の整備工事を進めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・地域における持続可能な医療提供体制を確保するため、機能分化・連携強化、医師・看護師確保等による病院の経営強化に取り組むことに加え、新興感染症への対応や医師の時間外労働規制への対応も必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・医療機器については、費用対効果や収益性を考慮し、予算の範囲内で優先順位をつけ、計画的に購入した。
- ・新病院整備事業においては、2024年1月の新病院開院に向け、新病院棟の整備工事を進めた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・指定管理者と医療機器の必要性等を協議し、計画的に購入することで安全・安心な医療を提供していく。
- ・新病院整備事業では、設計段階から施工業者が関与するECI方式やエネルギー供給の資金調達から設計・施工・管理までを長期にわたって事業者が実施するエネルギーサービス事業を導入し、建設・維持コストの縮減を図る。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・医療機器購入及び院内整備工事事業
浜松医療センターが公立病院として安全・安心な地域医療を提供するうえで整備が必要な医療機器の購入や、施設整備を行う。
- ・浜松医療センター新病院建設事業
2024年1月の新病院開院に向け、新病院棟の整備工事を進める。
2023年度に3号館及び渡り廊下棟改修工事、1・2号館等解体工事の契約を締結する。

政策シート 政策名 02 安全・安心な医療の提供
予算費目名 04 浜松市病院事業会計(リハビリ病院)

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿 (30年後) ◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後) ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

地域と連携し、その人らしい社会参加に向けて、個人の病態や生活環境に配慮した安全で質の高いリハビリテーション医療を提供する使命を、将来にわたり安定・継続的に果たしていく。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,150,550	4,285,924	4,299,089	4,407,957	4,457,071	
決算	4,041,658	4,205,653	4,235,536	4,367,628		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	
年間経費(予算又は決算+A+B)	4,047,258	4,211,253	4,241,136	4,373,228	4,462,671	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
経常収支比率	%	目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0	101.4	102.0		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

地域と連携し、その人らしい社会参加に向けて、個人の病態や生活環境に配慮した安全で質の高いリハビリテーション医療を提供した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
経常収支比率は102.0%となり、目標値100%を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市病院事業(リハビリ病院事業費用)	-	○		4,154,680	4,149,780	0.7			
2	浜松市病院事業(リハビリ病院資本的支出)	-	○		307,991	307,291	0.1			
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					4,462,671	4,457,071	0.8			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 浜松市病院事業(リハビリ病院事業費用)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全で質の高いリハビリテーション医療を将来にわたり地域に提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1999	-	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,876,072	3,971,120	4,020,491	4,120,329	4,149,780	
	決算	3,792,679	3,919,875	3,985,251	4,108,312		
	国・県支出	412	15,704	16,914	33,854	530	
	市債						
	その他	3,462,880	3,587,498	3,654,994	3,765,599	3,845,839	
	一般財源 一般会計繰入金	329,387	316,673	313,343	308,859	303,411	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	
人工	正規	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,797,579	3,924,775	3,990,151	4,113,212	4,154,680	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
経常収支比率(%)		目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0	101.4	102.0		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、地域の医療機関や保健・福祉施設などと連携し、地域に安全で質の高いリハビリテーション医療を提供した。また、先進医療機器の活用や専門的な医療を展開し、より効果的なリハビリテーション医療を提供し、地域医療の発展に貢献した。

・高い病床利用率の維持に加え、診療報酬算定において、令和3年度に一般病棟から回復期病棟へ変更した東2病棟45床において、令和4年度に上位施設基準を取得するなど、より効率的な病院運営に取り組んだ。

・病院事業会計内の事業として、国県補助金に関する業務、診療報酬交付金に関する業務、施設管理に関する業務などの病院の管理運営に関する事業や病院事業の評価を行う評価委員会に関する事業などを実施した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・新型コロナウイルス感染症の影響により、一時病床利用率が低下するなどの影響を受けたが、綿密な入退院管理により、経常収支比率100%を維持することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・地域における持続可能な医療提供体制を確保するため、機能分化・連携強化、医師・看護師確保等による病院の経営強化に取り組むことに加え、新興感染症への対応や医師の時間外労働規制への対応も必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新型コロナウイルス感染症の影響により、一時病床利用率が低下するなどの影響を受けたが、綿密な入退院管理により、経常収支比率100%を維持することができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・効果的・効率的なチーム医療体制の構築により、質の高いリハビリテーション医療の提供及び地域連携の強化に努めるとともに、持続可能な経営基盤の確立に取り組む。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、地域の医療機関や保健・福祉施設などと連携し、地域に安全で質の高いリハビリテーション医療を提供するとともに、先進医療機器の活用や専門的な医療を展開し、より効果的なリハビリテーション医療を提供し、地域医療の発展に貢献する。

・高い病床利用率の維持とともに、診療報酬改定に柔軟に対応しながら、効率的な病院運営に努め、経常収支比率100%を達成する。

・病院事業会計内の事業として、国県補助金に関する業務、診療報酬交付金に関する業務、施設管理に関する業務などの病院の管理運営に関する事業や病院事業の評価を行う評価委員会に関する事業などを実施する。

(管理番号)									
2023年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	02	04	001053000	02	病院管理課	徳増 淳	2023.7.1

事業シート (事業名) 02 浜松市病院事業(リハビリ病院資本的支出)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全で質の高いリハビリテーション医療を提供するために必要な病院環境を整備維持する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1999	-	事業会計	自治事務(その他)	浜松市病院事業の設置等に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	病院事業の運営を通じ、人々の健康的な生活を確保する取り組みを行っている。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	274,478	314,804	278,598	287,628	307,291	
	決算	248,979	285,778	250,285	259,316		
	国・県支出						
	市債	27,500	41,800			39,400	
	その他	143,876	155,159	157,723	163,830	180,413	
	一般財源 一般会計繰入金	77,603	88,819	92,562	95,486	87,478	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		249,679	286,478	250,985	260,016	307,991	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
経常収支比率(%)		目標	99.6	100	100	100	100	100
		実績	100.5	101.0	101.4	102.0		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2023年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
05 02 02 04 001053000 02 病院管理課 徳増 淳 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、安全で質の高いリハビリテーション医療を提供するうえで必要な施設整備や医療機器の購入を実施した。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

・医療提供体制に支障をきたすことのないよう、計画的な施設整備や医療機器の更新などを実施し、安全で質の高いリハビリテーション医療の提供ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・地域における持続可能な医療提供体制を確保するため、機能分化・連携強化、医師・看護師確保等による病院の経営強化に取り組むことに加え、新興感染症への対応や医師の時間外労働規制への対応も必要となっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・必要な施設整備や医療機器の更新を計画的に実施した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・今後、機能訓練棟の老朽化や耐用年数を超過する医療機器が増加していくことから、引き続き計画的な施設整備や医療機器の更新を実施する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

・地域のリハビリテーション医療の中核を担う病院として、安全で質の高いリハビリテーション医療を提供するうえで必要な施設整備や医療機器の購入を計画的に実施する。

政策シート 政策名 **02 安全・安心な医療の提供**

予算費目名 **05 保健所運営総務費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **05 健康・福祉**

理想の姿 (30年後)	◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。
政策の柱 (10年後)	◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 **02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実**

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

- ・市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る専門的、技術的拠点である保健所施設等の整備・充実を図る。
- ・医療機関の立入検査や市民からの医療相談を受けるなど、医療に対する安心と信頼の確保に努める。
- ・より多くの市民に薬物乱用防止の啓発を行う。
- ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。
- ・狂犬病の発生を未然に防止する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	62,027	114,182	185,608	371,990	388,315	
決算	56,448	176,210	177,279	295,967		
人件費(報酬等)(A)	3,381	1,709	817	4,414		
人件費(人工分)(B)	180,940	180,140	180,140	131,560	150,600	
年間経費(予算又は決算+A+B)	240,769	358,059	358,236	431,941	538,915	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
立入検査指摘事項のない医療機関の割合	%	目標	75	75	76	77	79	80
		実績	73	—	—	—		
年間電気使用量前年比1%減	KWh	目標	158,060	156,479	154,915	153,365	151,832	150,313
		実績	157,475	160,520	237,012	223,606		
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

- ・市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る専門的、技術的拠点である保健所等施設の適正な維持管理を行うとともに、今後の施設のあり方を検討する。
- ・医療機関の立入検査や市民からの医療相談を受けるなど、医療に対する安心と信頼の確保に努める。
- ・より多くの市民に薬物乱用防止の啓発を行う。
- ・適正な移植医療(臓器移植、造血幹細胞移植)を推進する。
- ・狂犬病の発生を未然に防止する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	遅れている
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応のため、立入検査や普及啓発事業等の中止・縮小を余儀なくされ、十分な活動ができなかった。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	保健所等維持管理運営事業	-	○		95,801	55,001	4.8	0.6		1.8
2	医療体制充実事業	-	○		79,311	5,231	9.2	0.2		3.2
3	骨髄ドナー等助成事業	-	-		1,900	840	0.1	0.1		
4	家庭動物等管理事業	-	-		50,801	20,561	3.2			2.8
5	PCR検査センター設置運営事業	-	-		20,192	16,832	0.4			0.2
6	発熱等受診相談センター運営事業	-	-		289,962	289,602		0.1		
7	保健総務課デジタル運営経費	-	-		948	248	0.1			
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					538,915	388,315	17.8	1.0		8.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 保健所等維持管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る専門的、技術的拠点である保健所等施設の適正な維持管理を行うとともに、今後の施設のあり方を検討する。
 ・厚生労働行政に必要な基礎資料を得るため、統計法、人口動態等調査令等に基づく各種保健統計調査を行う。
 ・適正な移植医療を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	-	一般会計	自治事務(法令義務)	地域保健法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	保健所等施設は、市民の健康保持・増進及び安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る拠点施設である。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	36,443	68,532	41,866	54,730	55,001	
	決算	32,718	62,943	40,570	45,235		
	国・県支出	1,902	10,412	1,250	2,336	2,888	
	市債						
	その他	296	208	297	344	716	
	一般財源 一般会計繰入金	30,520	52,323	39,023	42,555	51,397	
人件費(報酬等)(A)		3,381	1,709	817	4,414		
人件費(人工分)(B)		43,980	36,980	34,880	35,980	40,800	
人工	正規	4.9	3.9	3.8	4.1	4.8	
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.2	0.7	0.6	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.2	3.2	2.7	1.7	1.8	
年間経費(予算又は決算+A+B)		80,079	101,632	76,267	85,629	95,801	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間電気使用量前年比1%減(kWh)	-	目標	158,060	156,479	154,915	153,365	151,832	150,313
		実績	157,475	160,520	237,012	223,606		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・保健所及び口腔保健医療センターの施設・設備並びに敷地内の維持・管理を行う。
- ・施設、設備の老朽化に伴う緊急対応としての工事や修繕の他、今後の施設のあり方を検討する。
- ・国民生活基礎調査、社会保障人口問題基礎調査、医師・歯科医師・薬剤師調査などの周期調査のほか、人口動態調査、医療施設動態調査、病院報告などの月例調査を行う。
- ・適正な移植医療を推進する(造血幹細胞移植は、03骨髄ドナー等助成事業を参照)。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・年間電気使用量について、前年度比1%削減の目標に対して増加しており、目標を達成することができなかった。増加の理由は、新型コロナウイルス感染症対応により、保健所内各課において時間外勤務及び休日出勤が増加したためであり、やむを得ないものである。
- ・施設のあり方に関する検討委員会を保健所内に組織し、今後の施設のあり方について検討を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2020年3月、保健所敷地及び隣接敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定され、風水害や地震等の災害により建物や駐車場の一部が被災する恐れがあることが判明した。
- ・2022年2月、「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の改正により、感染症対応にかかる保健所機能の強化が求められているため、保健所施設についてもこれに対応可能なものとして検討する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽化した施設・設備等の修繕や工事等により、適正に維持・管理を行った。
- ・各種保健統計調査を適正に行うことにより、厚生労働行政に必要な基礎資料を得ることができた。
- ※新型コロナウイルス感染症対応業務(生活衛生課兼務)のため人工を縮小している。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2022年に検討した今後の施設のあり方を基に、庁内調整を進める。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・2022年に検討した保健所等施設のあり方を基に庁内調整を行い、早期に方針を決定する。
- ・保健所及び口腔保健医療センターの施設・設備の老朽化に伴う緊急対応としての工事や修繕のほか、敷地内の維持・管理を行う。
- ・国民生活基礎調査、社会保障人口問題基礎調査、医師・歯科医師・薬剤師調査などの周期調査のほか、人口動態調査、医療施設動態調査、病院報告などの月例調査を行う。
- ・適正な移植医療を推進する(造血幹細胞移植は、03骨髄ドナー等助成事業を参照)。

事業シート (事業名) 02 医療体制充実事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

医療法等関係法令に基づき医療施設等に対し監視指導を実施し、良好な医療体制の確保及び充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	-	一般会計	自治事務(法令義務)	医療法、医薬品医療機器法、毒物劇物取締法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。									
総合戦略	-	(施策)									

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健										
事業とゴールの 関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用を防止するための啓発活動を行うことで、市民の健康保持に資する。 ・毒物劇物等を取り扱う施設の監視指導を行い、有害化学物質による事故の発生を防止することで、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。 									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	6,302	5,243	3,954	5,208	5,231	
	決算	5,530	3,189	3,268	3,429		
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,530	3,189	3,268	3,429	5,231	
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	96,500	92,200	90,100	67,000	74,080	
人工	正規	12.3	11.8	11.5	7.8	9.2	
	再任用(31h)	1.8	0.8	0.8	0.1	0.2	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.4	2.4	2.4	4.3	3.2	
年間経費(予算又は決算+A+B)		102,030	95,389	93,368	70,429	79,311	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
立入検査時に指摘事項のない医療機関の割合(%)		目標	75	75	76	78	79	80
		実績	73	-	-	-		
医療相談納得度(%)		目標	95	95	95	95	95	95
		実績	94	94	95	94		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・病院、診療所、薬局等の許認可事務及び監視指導業務を実施する。また、医療法人の設立・解散等について認可を行うとともに、運営面の指導監督を行う。
- ・医療相談窓口を設置し、医療に関する市民等からの相談・苦情に対応する。
- ・市が設置する食品衛生検査施設の検査信頼性確保のため、国の指定する機関による精度管理調査を行う。
- ・浜松市健康危機管理基本指針に基づき、市民の生命、健康を脅かす事態(食中毒、感染症、医薬品、医薬用外劇物・毒物、飲料水等)に対して的確に対応する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・病院への立入検査を予定していた9月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い病院側が対応困難な状況となり、また立入検査を実施することで感染拡大に繋がる恐れが危惧されたため実施できなかった。
- ・医療に関する市民等からの相談や苦情、1,215件に対応し、相談者の94.2%について納得を得ることができ、おおむね目標達成できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、立入検査の実施が困難な状況になるおそれがある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・薬局等の薬事関係施設263施設の立入調査を実施した。
- ・施術所256施設及び歯科技工所51施設に対して書面による自己点検を実施した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・立入検査関係書類の見直しを行い、検査項目の重点化を図る。
- ・庁内の応援体制により効率的に業務を執行する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・病院、診療所、薬局等の許認可事務及び監視指導業務を実施する。また、医療法人の設立・解散等について認可を行うとともに、運営面の指導監督を行う。
- ・医療相談窓口を設置し、医療に関する市民等からの相談・苦情に対応する。
- ・市が設置する食品衛生検査施設の検査信頼性確保のため、国の指定する機関による精度管理調査を行う。
- ・浜松市健康危機管理基本指針に基づき、市民の生命、健康を脅かす事態(食中毒、感染症、医薬品、医薬用外劇物・毒物、飲料水等)に対して的確に対応する。

事業シート (事業名) 03 骨髄ドナー等助成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市骨髄移植推進助成金を交付することにより、ドナーの負担を軽減し、骨髄・末梢血幹細胞移植の推進及びドナー登録の増加を図るため。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(法令義務)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律、浜松市骨髄移植推進助成金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	骨髄・末梢血幹細胞移植の推進により、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			227	617	840	
	決算			140	560		
	国・県支出				280		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			140	280	840	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	1,060	1,060	
人工	正規			0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)				0.1	0.1	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				840	1,620	1,900	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
助成金申請者数		目標			5	6	7	8
		実績			1	4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・病院、診療所、薬局等の許認可事務及び監視指導業務を実施する。また、医療法人の設立・解散等について認可を行うとともに、運営面の指導監督を行う。
- ・医療相談窓口を設置し、医療に関する市民等からの相談・苦情に対応する。
- ・市が設置する食品衛生検査施設の検査信頼性確保のため、国の指定する機関による精度管理調査を行う。
- ・浜松市健康危機管理基本指針に基づき、市民の生命、健康を脅かす事態(食中毒、感染症、医薬品、医薬用外劇物・毒物、飲料水等)に対して的確に対応する。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・病院への立入検査を予定していた9月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い病院側が対応困難な状況となり、また立入検査を実施することで感染拡大に繋がる恐れが危惧されたため実施できなかった。
- ・医療に関する市民等からの相談や苦情、1,215件に対応し、相談者の94.2%について納得を得ることができ、おおむね目標達成できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、企業・団体等への献血バスの巡回回数が減少し、献血併行型骨髄ドナー登録会が開催しにくくなっている。
- ・造血幹細胞移植におけるさい帯血の利用が骨髄を上回っており、公的さい帯血バンクの推進も検討する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、企業、団体、大学、専門学校等への働きかけが十分にできなかった。
- ・静岡県 の骨髄ドナー登録者数について、全国最下位から脱出したものの、依然46位となっている。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・静岡県 の骨髄ドナー登録者数を増やすため、他県における取組み等について情報の収集及び分析を行う。
- ・企業・団体等において、骨髄ドナー登録会が自主的に開催されるよう、関係機関等と協力し、骨髄ドナー登録説明員養成研修会の開催、出前講座の実施等に取り組む。
- ・公的さい帯血バンクによる造血幹細胞移植の推進について情報収集を行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・病院、診療所、薬局等の許認可事務及び監視指導業務を実施する。また、医療法人の設立・解散等について認可を行うとともに、運営面の指導監督を行う。
- ・医療相談窓口を設置し、医療に関する市民等からの相談・苦情に対応する。
- ・市が設置する食品衛生検査施設の検査信頼性確保のため、国の指定する機関による精度管理調査を行う。
- ・浜松市健康危機管理基本指針に基づき、市民の生命、健康を脅かす事態(食中毒、感染症、医薬品、医薬用外劇物・毒物、飲料水等)に対して的確に対応する。

事業シート (事業名) 04 家庭動物等管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

狂犬病の発生を未然に防止する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	法定受託事務 自治事務(法令義務)	狂犬病予防法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	—	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健							
事業とゴールの 関連性	狂犬病(人獣共通感染症)の発生を未然に防止することで、市民の健康保持に資する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	19,282	20,052	19,664	19,975	20,561	
	決算	18,200	18,985	19,018	18,951		
	国・県支出						
	市債						
	その他	18,200	18,985	19,018	18,951	20,561	
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		40,460	40,460	40,460	23,520	30,240	
人工	正規	4.3	4.3	4.3	2.6	3.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.7	3.7	3.7	1.9	2.8	
年間経費(予算又は決算+A+B)		58,660	59,445	59,478	42,471	50,801	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
狂犬病予防注射実施割合(%)		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	76.3	81.3	71.3	77.4		
咬傷事故発生時の改善率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	83.6	84	82.9	68.4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2022年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

05

02

02

05

001081000

04

保健総務課

鈴木 勝己

2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・狂犬病予防注射事業の実施並びに当該予防注射に関する啓発活動を行う。
- ・衛生的な獣医療が実施できない屋外の会場となる狂犬病予防集合注射を一部を除き取りやめた。

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・狂犬病予防注射の実施に関する啓発を進めたことにより狂犬病発生の未然防止が図られた。
- ・狂犬病予防注射接種率は、新型コロナウイルス流行による外出控えや畜犬台帳の整理不足等により目標値に届かなかった。
- ・咬傷事故改善率に関しては、咬傷の原因となった犬及び犬の飼い主が不明等により、指導に至らなかった事例があるため、目標値に届かなかった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・狂犬病予防法に規定されている狂犬病予防注射の接種時期が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、限定的に2022年3月2日～6月末日から、2022年3月2日～12月末日に延長する、一部改正が行われた。
- ・狂犬病予防法施行規則の一部が改正され、25才以上かつ死亡の可能性がある犬の登録を削除できる規定が設けられた。
- ・2022年6月から新たにマイクロチップを装着した犬の狂犬病予防法に基づく登録の特定通知制度が開始され、一部の自治体が参加しているが、その多くは登録手数料の徴収を取りやめている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・狂犬病予防法に基づく、予防接種集合注射や迷い犬の保護を実施する。
- ・衛生的な獣医療が実施できない屋外の会場となる狂犬病予防集合注射を天竜区を除き取りやめ、掛かり付けや最寄りの動物病院での狂犬病予防注射接種を案内する。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・狂犬病予防注射接種率の向上のための啓発を継続的に実施していく。
- ・衛生的な獣医療が実施できない屋外の会場となる狂犬病予防集合注射については、天竜区を除き取りやめる。
- ・天竜区については、開設されている動物病院が少ないため、衛生的な獣医療が実施可能な会場を選定して狂犬病予防集合注射を行う。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

狂犬病予防注射事業の実施並びに当該予防注射に関する啓発活動を行う。

事業シート (事業名) 05 PCR検査センター設置運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

PCR検査センターの設置、運営により、新型コロナウイルス感染症の検体採取能力を拡充し、迅速に検査を実施できる体制を整備することで、感染拡大を抑える。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2020	-	一般会計	自治事務(その他)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健							
事業とゴールの関連性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、必要な検査体制を整備することで、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算		20,355	14,749	15,225	16,832	
	決算		52,872	11,600	10,718		
	国・県支出		45,304	8,767	10,718	771	
	市債						
	その他						
	一般財源		7,568	2,833		16,061	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)		7,000	8,400	2,940	3,360	
人工	正規		1.0	1.0	0.3	0.4	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.5	0.3	0.2	
年間経費(予算又は決算+A+B)			59,872	20,000	13,658	20,192	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
受診調整後の検査実施率(%)		目標		100	100	100	100	100
		実績		100	100	100		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・PCR検査センターの設置及び運営
- ・検査資材(検体採取用品、個人防護具等)の調達
- ・PCR検査センターの交通誘導委託
- ・IPトランシーバーのレンタル契約



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・検査需要に応じて、ドライブスルー検査方式を採用し、必要な検査を100%実施することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・今後の感染動向を注視しつつ、運営体制を変えていく必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・常に変化する検査需要に対して、適切に対応することができた。今後も同様に実施していく。
- ・5月8日に感染症法上の第5類へ移行されるため、今後の感染動向や、国の動向を注視する必要がある。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国の新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ事業を終了する予定。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・PCR検査センターの設置及び運営
- ・検査資材(検体採取用品、個人防護具等)の調達
- ・PCR検査センターの交通誘導委託
- ・IPトランシーバーのレンタル契約

事業シート (事業名) 06 発熱等受診相談センター運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

新型コロナウイルス感染症のまん延防止と市民の不安を軽減するため、感染の疑いがある市民からの電話相談及び発熱等診療医療機関への受診調整を行う相談センターを24時間体制で運営するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2020	-	一般会計	自治事務(その他)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの関連性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市民の相談窓口体制を整備することで、市民が安心して暮らせる保健医療体制の確保を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			104,900	275,987	289,602	
	決算		38,221	102,436	216,827		
	国・県支出		38,220	100,895	216,354		
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金		1	1,541	473	289,602	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)			3,500	4,900	360	360	
人工	正規		0.5	0.7			
	再任用(31h)				0.1	0.1	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)			41,721	107,336	217,187	289,962	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
発熱等受診相談センターにおける夜間(17:00~8:30)の受電率(%)		目標			90.0	90.0	90.0	
		実績			99.7	99.4		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・発熱等受診相談センターとして、民間企業への委託により、感染の疑いがある市民からの電話相談の受付、発熱等診療医療機関の案内等を24時間体制で行うほか、感染者及び濃厚接触者の健康フォローアップ業務等を行う。
- ・コールセンターシステム及びフリーダイヤルの契約及び運用管理、関係課との調整業務を行う。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染症対応業務に携わる生活衛生課職員が専門的業務に集中できるようにするとともに、職員の時間外勤務の削減及び健康維持管理のため、民間企業への委託に関する契約及び調整を行った。
- ・相談件数等の増減にあわせて、委託先担当者の人数を柔軟に増減できるようにした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・5月8日に感染症法上の第5類へ移行されるため、今後の感染動向や、国の動向を注視する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・相談件数等の増減にあわせて、委託先担当者の人数を柔軟に増減できるようにし、概ね、順調に対応できた。
- ・事業費については、第5波、第6波で委託先担当者の人数を大幅に増員したため、補正予算で対応した。
- ・5月8日に感染症法上の第5類へ移行されるため、今後の感染動向や、国の動向を注視する必要がある。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国の新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ事業を終了する予定。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・発熱等受診相談センターとして、民間企業への委託により、感染の疑いがある市民からの電話相談の受付、受診先の紹介等を24時間体制で行う。
- ・コールセンターシステム及びフリーダイヤルの契約及び運用管理、関係課との調整業務を行う。

事業シート (事業名) 07 保健総務課デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「デジタルファースト宣言」に基づくデジタルトランスフォーメーションに関する予算を明確にするため、事業の再編を行い、デジタルに関する予算を集約するもの。医療救護本部医薬品確保用パソコン及び医療法人事業報告書の閲覧・交付用パソコンを対象とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健									
事業とゴールの 関連性	保健総務課業務のデジタル化により、市民が安心して暮らせる保健医療体制を確保する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			248	248	248	
	決算			247	247		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			247	247	248	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	700	700	
人工	正規			0.1	0.1	0.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				947	947	948	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンは、災害時用に設置している。
- ・医療法人事業報告書の閲覧・交付用パソコンは、窓口に配置しており、日常的に市民や事業者等に利用されている。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンは、インターネットに接続する使用可能なネットワークがなく、パソコンとしても接続できないよう設定されているため、災害時に想定する使用ができない状況となっている。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2020年度に新型コロナウイルス感染症対応として、保健所庁舎内に業務用Wi-Fiが整備された。(健康医療課による整備)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンを保健所庁舎内の業務用Wi-Fiに接続できるよう情報政策課に相談したところ、ICT調達連絡票を提出するよう助言を得た。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンを保健所庁舎内の業務用Wi-Fiに接続できるよう情報政策課にICT調達連絡票を提出し検討する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・医療救護本部医薬品確保用パソコンは災害時用に設置しているが、保健所庁舎の業務用Wi-Fiに接続し、日常業務でも情報収集等に活用する。
- ・医療法人事業報告書の閲覧・交付用パソコンは、引き続き窓口に配置することにより、日常的に市民や事業者等が利用しやすい環境を整備する。